

都道府県別面積、民有地等

面積は10月1日、民有地は1月1日、その他の項目は3月31日現在の数字である。

都道府県	面積	民 有 地				都市計画 区 域	市 街 化 区 域	市街化調 整 区 域
		総 数	(宅)宅地	(内)田	(内)畑			
	km ²	ha				ha	ha	ha
昭和50年	377 534.99	15 940 625	1 030 174	3 052 656	2 582 547	7 476 550	—	—
51	377 581.92	16 021 248	1 068 225	3 052 602	2 588 110	7 511 122	8 986 882	1 243 953
52	377 618.82	16 046 115	1 097 192	3 048 092	2 584 181	7 525 500	9 050 214	1 258 920
53	377 682.00	16 079 166	1 125 319	3 046 099	2 577 409	7 542 230	9 074 537	1 275 442
昭和54年	377 708.09	16 118 950	1 150 650	3 042 209	2 581 954	7 566 722	9 081 884	1 291 299
北海道	83 516.57	2 860 210	70 503	262 474	719 364	1 131 857	606 819	85 370
青森県	9 615.63	383 335	18 674	89 237	76 845	134 834	210 594	12 747
岩手県	15 277.98	734 554	19 968	93 289	84 583	402 927	188 952	4 600
宮城県	7 291.28	319 081	25 296	109 723	40 351	133 242	190 305	25 909
秋田県	11 611.32	362 444	16 683	129 218	28 775	107 632	155 289	6 779
山形県	9 326.56	349 839	16 799	103 259	40 094	151 431	95 157	5 078
福島県	13 782.65	594 320	26 738	115 174	93 978	301 044	267 443	25 110
茨城県	6 091.92	416 037	42 817	99 817	121 712	128 678	362 683	43 594
栃木県	6 413.79	334 687	27 463	99 889	49 594	134 863	400 601	27 092
群馬県	6 355.61	257 655	26 061	34 619	75 931	96 078	184 307	21 583
埼玉県	3 799.32	238 360	46 834	55 542	70 259	54 319	262 056	65 290
千葉県	5 142.60	361 018	48 045	99 573	76 359	110 666	267 743	60 765
東京都	2 156.35	110 691	49 954	2 181	15 548	35 151	172 630	104 124
神奈川県	2 397.10	136 945	46 485	10 410	27 263	39 185	198 299	90 788
新潟県	12 578.30	495 037	31 636	176 271	45 325	261 335	333 995	17 329
富山県	4 252.16	144 042	16 143	70 549	7 997	42 233	159 465	12 126
石川県	4 196.82	164 114	13 171	48 646	14 669	80 186	97 248	11 634
福井県	4 189.38	168 065	10 360	45 362	6 654	99 920	86 315	4 430
山梨県	4 463.48	128 753	10 061	16 286	30 838	61 312	77 849	5 143
長野県	13 584.62	468 618	28 044	78 983	85 650	207 678	318 118	9 658
岐阜県	10 595.75	472 327	24 050	58 363	24 711	338 912	212 332	16 622
静岡県	7 772.64	430 407	39 142	42 824	66 781	244 729	322 804	42 315
愛知県	5 130.27	281 094	59 446	72 461	50 359	81 411	339 518	104 490
三重県	5 776.49	292 659	21 785	61 348	26 890	171 174	187 652	20 867
滋賀県	4 016.00	175 621	14 934	61 435	7 566	84 193	197 921	19 425
京都府	4 612.84	163 636	16 611	33 138	11 448	95 951	221 607	24 873
大阪府	1 864.16	90 999	42 380	19 976	5 790	18 083	172 092	87 589
兵庫県	8 373.16	419 053	40 608	86 382	15 357	258 325	332 938	64 481
奈良県	3 692.15	148 477	9 993	25 628	8 454	99 645	115 945	17 877
和歌山県	4 723.18	252 783	9 567	23 379	18 842	197 465	82 143	6 956
鳥取県	3 492.34	141 395	7 427	30 491	16 565	70 442	66 152	5 460
島根県	6 627.41	328 948	9 286	48 498	19 699	241 928	129 618	3 513
岡山県	7 086.70	365 396	24 143	78 460	30 743	219 062	207 233	25 170
広島県	8 642.88	407 159	24 633	62 687	29 921	276 110	173 394	35 118
山口県	6 101.18	312 313	19 825	61 612	19 590	197 199	265 878	17 451
徳島県	4 145.23	188 190	8 896	26 006	20 255	130 102	63 285	8 440
香川県	1 880.47	115 503	12 057	33 826	14 385	51 708	47 541	8 331
愛媛県	5 667.88	293 723	15 929	36 741	45 059	191 247	154 057	13 225
高知県	7 106.82	327 570	6 971	30 469	19 505	264 387	93 709	5 440
福岡県	4 954.03	291 270	44 918	88 755	29 973	98 511	268 810	54 420
佐賀県	2 432.71	144 888	9 357	50 304	21 634	48 525	93 169	4 402
長崎県	4 107.36	182 172	13 318	30 724	48 437	71 735	100 397	13 015
熊本県	7 406.14	296 407	21 112	79 602	67 986	96 510	132 684	12 729
大分県	6 331.71	229 647	14 419	52 221	34 204	92 229	96 273	12 944
宮崎県	7 734.20	231 450	15 036	44 511	47 566	98 032	86 154	12 650
鹿児島県	9 162.81	397 968	23 528	58 686	120 802	150 400	175 557	6 930
沖縄県	2 249.91	110 089	9 543	3 176	47 645	9 137	107 153	7 414

第 2 章
気 象

第 2 章 気 象

年平均天気図（北半球500mb、地上5,500m位）をみると、西半球高緯度で高気圧、極東から太平洋にかけてが低気圧という大きな特徴がある。今年は冬と夏に寒気の南下が目立ち、8月を中心とした記録的な冷夏と日照不足、寒冬が特徴的であった。

台風発生は平年（28個）より少い24個で昨年と同じで、上陸したのは13号（9月11日）のみであった。

1 月

冬型の気圧配置が続いて寒い日が多かったが上旬前半と下旬後半に4月上旬なみの暖かさになったため月平均気温は平年並となった。

2 月

冬型気圧配置が続いたため寒さが継続し、17日は大阪でこの冬一番の低温-2.6°Cが観測された。下旬に入ってようやく冬型も弱まり周期的天気変化となってまとまった雨が降り3月中～下旬の暖かさとなった。

3 月

気温の変動が大きい月であった。上旬と下旬後半は短い周期で天気が変わり気温は高目だったが冬型気圧配置になる日が多く、とくに下旬前半は真冬なみの寒さになった。なお大阪府に、異常乾燥注意報が発表されていた日は月のうち23日に達した。

4 月

上旬中頃に移動性高気圧が、日本の東海上で発達して5月中旬の陽気となった。月半ばから大陸の冷たい高気圧におおわれ3月下旬の低温に逆もどりした。また21～23日は西日本一帯で黄砂を観測した。この月の日曜日はすべて雨であった。桜の開花は平年より2日遅い4月3日であった。

5 月

周期的な天気変化だったが、月前半は寒気が入りやすかったため気温は低目、後半は移動性高気圧におおわれて気温は高目で7月上旬なみの暑さになった。近畿地方のつゆ入りは29日で平年より11日早く、昨年より9日早い。

6 月

太平洋高気圧が強く空つゆ模様だったが月末にやっと梅雨らしくなり、降水量は平年の75%で平年よりやや高かった。1日には大阪市南部、堺市、河内長野市などで強い雷雨があり浸水被害がでた。ひょうが降った所もあった。

7 月

オホーツク海高気圧が強く曇雨天の日が続き時折豪雨となった。11日には大阪府中部で50～60ミリとなり関西線が寸断され、14～15日は京都市で局地豪雨があり浸水被害がでた。気温は平年を下まわる日が多く、太平洋高気圧が一時的に強くなった20日に梅雨が明けた。平年より4日おそく昨年より2日早い。その後、再びオホーツク海高気圧が強まったので、夏の日ざしは数日だけだった。

8 月

太平洋高気圧の勢力が弱く、オホーツク海高気圧におおわれる日が多かったため平均気温は平年より低く、低温順位第1位の記録となった。日照不足も記録第1位で冷夏日照不足の記録をつかった。7日には雷雨で大阪市港区、堺市、河内長野市で浸水被害が発生した。月末には台風12号崩れの低気圧が瀬戸内をとおり大雨となった。

9 月

月はじめ高気圧におおわれて30°Cをこえる残暑となったが南海上に前線が停滞したので長続きせず再び低温となった。11日台風第13号が九州に上陸北上して日本海に入り暖気をもたらし、その後、移動性高気圧におおわれたので日照不足は解消した。月末には秋雨前線が現われ、10月下旬なみの低温となった。

10 月

上旬から中旬にかけては移動性高気圧におおわれることが多く、高温の秋晴れが目立った。下旬になると大陸高気圧が発達して寒気が入り、気温は急激に下った。25日に日本海で発達した低気圧により全国的に異常潮位を観測した。

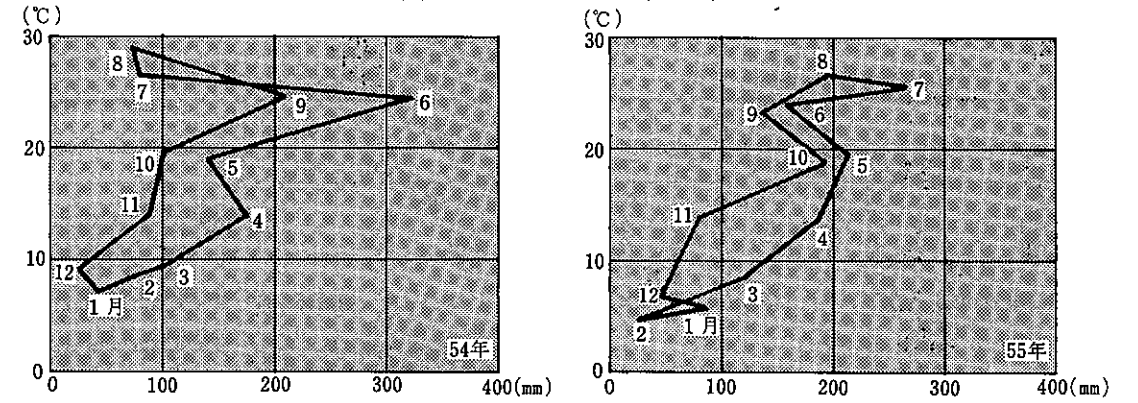
11 月

月半ばまでは周期変化で、4日朝は冷えこみ近畿地方の山沿いで初霜や初氷を観測した。月後半は移動性高気圧におおわれることが多く、小春びよりが続いた。とくに下旬は、最低気温の高いのが目立った。

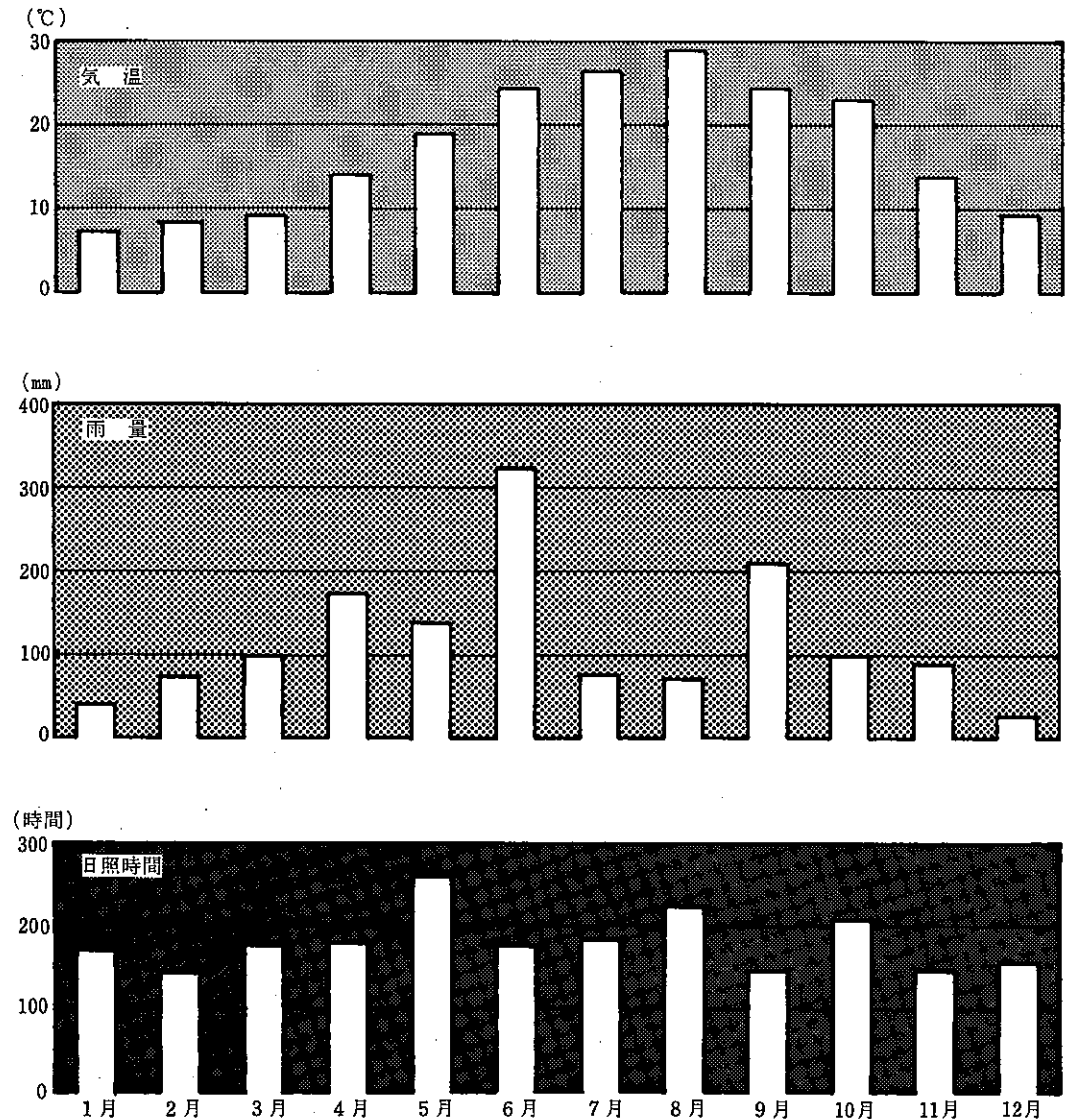
12 月

月はじめ移動性高気圧におおわれて11月上旬の暖かだったが、4日は日本海を低気圧が発達しながら通り木枯らし1号が吹いた。その後は冬型気圧配置が続き、とくに12～16日は強い寒気が入り各地から初霜や初氷の便りがあった。大阪の初霜は12日で平年より12日早く昨年より28日早かった。

気温と雨量の関係（大阪）



気温と雨量と日照時間数（55年）



第 1 表

大 阪 管 区 気 象 台

本表は「地上気象観測原簿」によるものである。

Table with 5 columns: 位 置, 経 緯 度, 海 面 上 高, 創 立 年 月 日, 主 要 機 器 の 位 置. Includes data for 大阪市東区法円坂町 6-25.

資 料 大 阪 管 区 気 象 台 調 査 課 調

第 2 表 気 象 概 況

本表は大 阪 管 区 気 象 台 での観測概況である。平均気温は1日8回の平均値から、平均湿度は相対湿度ともよび1日4回の測定値からその日の平均値が計算される。

Table with 14 columns: 年 月, 平均気圧, 気 温, 平均湿度, 雲量, 風 速, 降 水 量, 日照時間, 有感地震. Includes monthly and annual data from 昭和51年 to 昭和55年.

資 料 大 阪 管 区 気 象 台 「大 阪 府 気 象 年 報」

第 3 表

天 気 の 概 況

本表は大 阪 管 区 気 象 台 での観測結果による日数である。

Table with 15 columns: 区 分, 昭和52年, 昭和53年, 昭和54年, 昭和55年 (1-12月). Includes data for precipitation, snow, and wind.

資 料 大 阪 管 区 気 象 台 「大 阪 府 気 象 年 報」

第 4 表

地 域 気 象 観 測 所 の 平 均 気 温

本表は府下の各地域気象観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた平均値である。

Table with 18 columns: 観測所, 昭和52年, 昭和53年, 昭和54年, 昭和55年 (1-12月). Includes data for 能勢, 豊中, 生駒, 山崎, 堺, 熊取.

資 料 大 阪 管 区 気 象 台 「大 阪 府 気 象 年 報」

第 5 表

地 域 気 象 観 測 所 の 降 水 量

本表は府下の各地域気象観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた合計値である。

Table with 18 columns: 観測所, 昭和52年, 昭和53年, 昭和54年, 昭和55年 (1-12月). Includes data for precipitation at various locations.

資 料 大 阪 管 区 気 象 台 「大 阪 府 気 象 年 報」

全国気象官署別気象概況(昭和54年)

本表の「相対湿度」は毎日3時、9時、15時、21時の4回の観測を、「気温」はこの4回に更に6時、12時、18時、24時を加えた合計8回の観測値を算術平均したものである。「快晴日」は日平均雲量2.5未満をいい、「最大風速」は任意の10分間平均風速の最大値である。

Table with columns for 気象官署, 気温 (年平均, 年間最高, 年間最低, 年平均), 相対湿度 (年平均, 年間最小, 年平均), 日照時間 (年平均, 年間), 降水量 (年平均, 年総量, 1日最大), 快晴日数, 最大風速, 最深積雪. Rows list various prefectures and cities like 北海道, 青森県, etc.

第 3 章
人 口